

## 1 決算概要

### 平成30年度普通会計決算状況

(千円)	H30	H29	増減
歳入	102,009,634	109,538,693	△ 7,529,059
歳出	99,933,149	108,793,188	△ 8,860,039
形式収支	2,076,485	745,505	1,330,980
繰越財源	251,173	885,052	△ 633,879
実質収支	1,825,312	△ 139,547	1,964,859

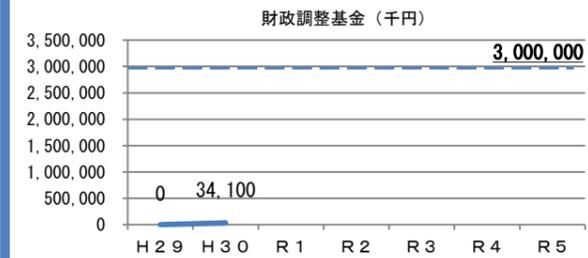
## 2 性質別決算

歳入(千円)	H30	H29	増減
市税	44,670,511	44,465,038	205,473
地方交付税	9,824,599	10,904,041	△ 1,079,442
交付金等	7,048,945	6,883,642	165,303
分担金・負担金	294,106	444,718	△ 150,612
使用料・手数料	1,562,524	1,546,172	16,352
国庫支出金	15,240,738	16,358,952	△ 1,118,214
県支出金	8,713,997	8,967,454	△ 253,457
財産収入	213,059	226,805	△ 13,746
寄附金	187,837	62,692	125,145
繰入金	1,126,496	3,562,048	△ 2,435,552
繰越金	745,505	1,310,055	△ 564,550
諸収入	3,100,362	3,239,243	△ 138,881
市債	9,280,955	11,567,833	△ 2,286,878
合計	102,009,634	109,538,693	△ 7,529,059

歳出(千円)	H30	H29	増減
人件費	17,127,078	18,012,615	△ 885,537
扶助費	25,357,473	25,448,892	△ 91,419
公債費	12,873,133	12,924,530	△ 51,397
物件費	13,285,417	13,503,300	△ 217,883
維持補修費	852,019	4,896,417	△ 4,044,398
補助費	9,274,737	8,792,351	482,386
繰出金	9,537,027	9,970,275	△ 433,248
投資及び出資金	130,136	128,968	1,168
貸付金	1,408,896	1,593,905	△ 185,009
積立金	47,678	7,303	40,375
投資的経費			
普通建設事業費	9,842,840	13,330,187	△ 3,487,347
災害復旧費	196,715	184,445	12,270
合計	99,933,149	108,793,188	△ 8,860,039

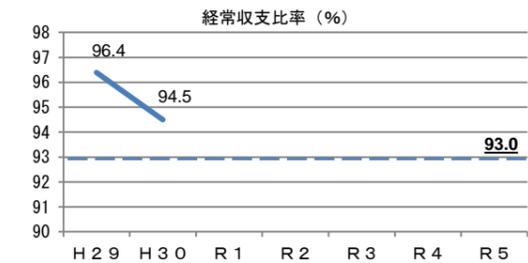
## 3 財政指数

①財政調整基金  
目標 30億円以上



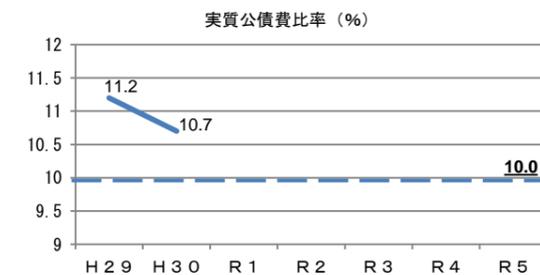
◆不死鳥ふくい ふるさと応援寄附金のうち、財政健全化等を使用とした金額を積み立てた。  
◆今年度内に H30年度の決算剰余金を積み立てる。

②経常収支比率  
目標 93%以下



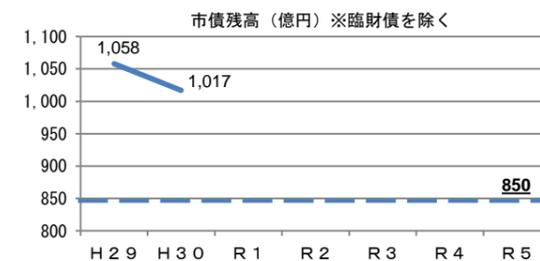
◆事業費、人件費の縮減などにより 1.9%減少した。

③実質公債費比率  
目標 10%以下



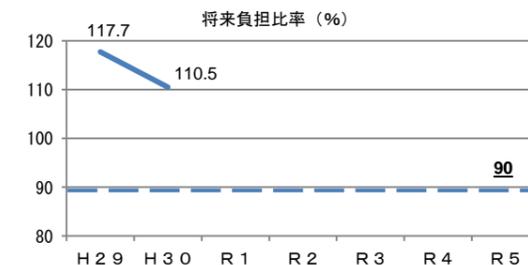
◆標準財政規模の増加などにより 0.5%減少した。

④市債残高  
目標 850億円以下



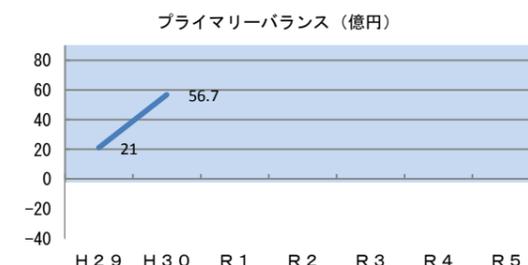
◆市債借入の抑制により 41 億円減少した。今後も、借入の抑制による減少を見込む。

⑤将来負担比率  
目標 90%以下



◆市債残高の減少などにより 7.2%減少した。  
今後も市債残高の減少などによる減を見込む。

⑥プライマリーバランス  
目標 黒字



◆市債借入の抑制により黒字を維持した。  
今後も市債借入を抑制することで黒字を維持していく。

## 4 取組成果

### ①事業費の縮減

取組内容	○事業費の見直し ・H30 事業について減額補正を実施し、事業費の圧縮を図った。
	○繰出金の見直し ・下水道事業繰出金を、189,363 千円減額 ・国民健康保険特別会計繰出金(赤字解消分)を 50,000 千円減額

### ②総人件費の縮減

取組内容	○職員数の適正化 ・職員数計画値 2,338 人⇒実配置職員数 2,327 人 (H31.4.1 時点)
	○級別職員数の適正化 ・昇任に係る必要在位年数の見直し 4 級(副主幹) 4 年→5 年 5 級(主幹) 5 年→4 年
	○等級別基準職務表の適正化 ・H31.4 月昇任者のうち、昇格しなかった人数 (課長補佐 6 級→5 級 25 名 副理事 8 級→7 級 7 名)
	○働き方改革の取組推進 ・時間外勤務の総時間数 H29 年度 369,511 時間→H30 年度 294,176 時間(△20.4%)
	○給料表の運用見直し ・給料表の継ぎ足し 廃止済み
	○各種手当の見直し ・保育業務手当、幼児保育手当を月額から日額に支給変更

### ③施設管理経費の縮減

取組内容	○施設マネジメントアクションプランの策定 ・基礎調査 市民 2,000 人へアンケート調査(H30/11) ・サウンディング型市場調査の実施 2 回(H30/11、H31/3)
	○施設再編を進めるための施設マネジメント ・商工労働部の地域交流プラザへの移転、越廼総合支所の越廼公民館への複合化に関連する条例改正(H31/3)

(参考)  
令和元年度  
取組内容

- ・施設マネジメントアクションプランの素案を公表(R1/7)
- ・パブリックコメント募集(R1/7) 20 人 37 件
- ・市民説明会 市内 10 箇所開催(R1/8) 165 人参加
- ・サウンディング型市場調査の実施 1 回(R1/5~6)
- ・民間譲渡対象施設の測量調査業務、不動産鑑定評価の着手

### ④投資的経費の抑制

取組内容	○大型公共事業、補助事業・単独事業 ・大型公共事業の先送りを実施 対象事業:文化会館整備事業、水道記念館保全活用事業、三秀園跡界限再整備事業、みらくる亭大規模改修事業など
------	---

### ⑤公債費の縮減

取組内容	○借入抑制【目標値:新規発行市債 50 億円以下】 ・市債発行(事業費充当分) 48 億 870 万円
------	--

### ⑥歳入の確保

取組内容	○収納率の向上 ・平成 30 年度の現年度収納率 99.16%(目標値 99.0%) 口座振替の勧奨や特別徴収推進等により収納率が向上 ・全庁管理職滞納整理収納額 14,506 千円⇒15,959 千円 訪問方式から電話催告方式に変更し、催告件数、収納額とも増加
	○クラウドファンディング ・H30 実績合計 2,583 千円 (足羽山公園遊園地動物購入、足羽山公園アジサイ植樹、ヘルプマーク入り防災スカーフ作成、ひとり親家庭親子記念写真)
	○ふるさと納税の推進 H 30 年度の実績 118,235 千円(計画目標 100,000 千円)
	○財産収入の確保 ・民間提案制度の実施(H30/11) 提案内容:庁舎地下食堂スペースの貸付(1,966 千円/年)、庁舎内 広告モニター付き授乳室スペースの目的外使用 ・大和紡績跡地の貸付(1,789 千円/年) ・サウンディング型市場調査の実施 ・ジュニアグラウンドの売却に向けた測量業務(H31/3)
○広告料収入、民間提案制度、ネーミングライツ等 ・H30 年度広告事業収入額:17,570 千円 主な広告事業:セーレンプラネット、HPバナー、電子掲示板等 ・新たな広告事業の実施 公用車広告掲載事業(H31.2 募集開始)、広告付窓口受付システム設置事業(H30.12 公募、R1.05 設置)※広告主が機器導入費用を負担	

(参考)  
令和元年度  
取組内容

- ・ふるさと納税(R1/9 時点) 39,650 千円(H30 同月比 1.9 倍)
- ・クラウドファンディング(足羽山公園遊園地動物購入) 1,350 千円(目標額:1,000 千円)